

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団
所在地 〒135-0042
東京都江東区木場
3丁目18番10号
深川消防団本部
TEL:03-3642-0119
FAX:03-3641-4422



小安消防団長・鈴木消防署長対談

岩淵 鈴木署長、小安団長、新年明けましておめでとうございます。

鈴木署長 おめでとうございます。

小安団長 ありがとうございました。4月からご指導していただいたわけですが、深川地区や深川消防団の印象はどうですか。

鈴木署長 着任後、私は深川消防署の管内を知るために、健康管理も兼ねて自分の足で地域を巡りました。また、各催物や訓練などを通じ、多くの方々と接する中で徐々に親しくお付き合いいただける方も増え、皆さまには大変親切に、また、丁寧にご指導を頂きました。お陰様で伝統ある深川の文化や、そこに暮らす地域の皆さん的心意気等が少しずつではありますが理解できつたり、消防署の仕事にもそれが活かされています。また、深川消防団の皆さんは、小安団長を筆頭に団結力があり、やる気と活気にあふれ、地域愛をもって地域に尽くす、すばらしい消防団であることを実感しています。

岩淵 小安団長、昨年4月から深川消防署長が鈴木署長となり、新たな体制でスタートしましたが、消防団に変化はありましたか。

小安団長 前任者の小黒署長が、しっかりと申し送りをしてくださったので、スムーズに引き継ぎができていきました。

岩淵 深川消防団と消防署の関係はどうですか。

小安団長 我々深川消防団と深川消防署は互いに尊敬しあい、災害現場や各種行事において協力し、車の両輪のよ

また、鈴木署長は、消防団員の活動環境を整えることを第一に考えてくださいております。大変うれしく思っています。

鈴木署長 恐縮いたします。小安団長、こちらこそ日頃よりお力添えをいただきありがとうございます。

岩淵 昨年の消防団行事の中で思い出に残る出来事はありましたか。

小安団長 昨年の東京都消防操法大会への出場ですね。大会に向けた訓練や大会本番まで多くの関係者から叱咤激励をいただき、選手はもとより消防団全体が成長できたと思います。また、各町会関係者や地域住民からも期待され、応援をいただいたことは非常に感謝するとともにうれしかった思い出です。

岩淵 鈴木署長は、いかがですか。

鈴木署長 富岡八幡宮の例大祭（本祭り）ですね。このお祭りは、地域の皆さんや消防団の皆さんのが、神輿の担ぎ手に水を掛け、このことが祭りをさらに活氣づけ、また、祭りのクライマックスの1つでもあることから、とても印象に残っています。このお祭りを通じて活気ある深川という街の伝統と礼節ある人々に江戸の粋を感じることができます。

うに進んでいます。いい関係ですね。

岩淵 鈴木署長はいかがですか。

消防団の皆さんとは、地域の安全安心のために、お互い尊敬し、協力し合うことができる関係が築けています。これも、小安団長の大らかで包容力のあるお人柄と消防団の皆さんとの地域愛にあふれた一生懸命な姿勢があるからだと考えています。

岩淵 消防団へ期待することは何ですか。

消防団も消防署も地域に根差した組織として、目指すところは一緒です。こと災害が発生すれば、お互に協力し、日々、訓練を通じ技術や能力を高めて地域のために活動する大切な同士です。ですから、これまで同様、良い関係を保ちつつ地域のために手を携えていけるよう願っています。

岩淵 小安団長、消防団はどうの様なことに力を入れていかねばならないとお考えですか。

現在も継続して推進している地域防災力の向上を目指すことです。いつ発生するかわからない地震災害や毎年発生する台風による水害に対し、地域住民が対応できるように消防団員が訓練を継続して指導を行っていくことです。また、実際に災害が発生した場合や住民が助けを求める場所にすぐ駆け付けられる体制を整えていかなければなりません。

岩淵 最後に二人の今年の目標を教えていただけますか。

皆さんと協力し、地域の安全安心のため防災訓練や様々な活動を通じて、多くの方々に防災に対する知識や認識を深めることで地域力を高め、「災害に強い街 深川」を目指に日々取り組んで参ります。

小安団長 地域の皆さんや消防団員と笑顔絶えない日々を過ごせるように献身的な活動を行なうことです。

岩淵 本日はありがとうございます。本年もよろしくお願い致します。

私は若干小粒ではあります、消防魂だけは人一倍あります。平成30年も深川消防団の方々とともに、全力で江東区を守っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

明けましておめでとうございます。
私は若干小粒ではあります、消防魂だけは人一倍あります。平成30年も深川消防団の方々とともに、全力で江東区を守っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

齊藤直也 深川消防署1部大隊
大隊長

深川消防署職員の紹介

消防署及び各消防出張所の部隊を併せて大隊と呼び、3交替制で勤務しております。それぞれの大隊の責任者を大隊長と呼びます。



深川消防署3部大隊
大隊長

新しい消防団担当の紹介

東洋二 防災安全係長
消防司令

このたび、11月1日付けで防災安全係長に就任しました東と申します。住まいが、京浜急行線の横須賀という所で、1時間40分かけて通勤しています。出身は、九州の熊本で、東京に来て30数年になりますが、第7方面勤務は初めてであり、全く土地勘がなく不安で一杯です

が、深川の防火防災の為に皆様方消防団と共に一生懸命頑張つて行く所存ありますので、前任の小坂補佐同様のご支援とご協力を宜しくお願ひ致します。



防災安全係副主任
消防士長

川村 広政

10月より、深川消防署防災安全係消防団担当になりました川村です。深川消防署に勤務して一年半が経ちました。枝川出張所で一年半の経験させて頂きながら、深川という歴史と伝統のある町で勤務させて頂いて、大変やりがいを感じています。今後は自分たちの町は自分たちで守るという熱い想いの消防団の方々と働くことに、身を引き締めて頑張っていこうと思います。よろしくお願い致します。

江東区内消防団点検

平成29年9月24日（日）

都立木場公園多目的広場において、深川・城東の両消防団による消防団点検が実施されました。訓練披露は、消防操練や震災を想定した各種訓練の演技に各消防団員が参加し、普段の訓練成果を十分に発揮しました。また、点検の最後に実施された城東消防団によるインタビューに対し、深川消防団を代表して、第3分団の大野隼一団員が元気よく答えていました。

小安団長からは、日頃の訓練成果が十分に発揮され素晴らしい訓練であつたと労いの言葉をいただきました。

実践的な活動訓練の団長確認

平成29年12月3日（日）

深川消防署において、深川消防団は一年間の訓練成果を確認するため消防団長確認を実施しました。訓練内容は、

火災を想定した消火活動訓練及び震災訓練を想定した救助訓練を実施しました。消火活動訓練では、迅速なホース延長で素晴らしい放水を披露し、救助

訓練では、地震により倒壊した住宅に逃げ遅れた住民を救出するため各消防団員が連携し、迅速的確な活動を披露しました。

「自然災害はいつ始まり、いつ終わるのかわからない。だからこそ、常日頃の備えと訓練が生かされてくる。

緊迫した中、交代で休憩をとる。小安団長からお腹は空いていないかと、下の者への気遣いや配慮に胸があつくなつた。入団して4年目、気がつけば



台風に伴う警戒活動

平成29年10月22日（日）

台風21号の接近に伴い17時15分、東京消防庁管下全域に水防第二非常配備

態勢が発令された。休日の吹き荒れる

雨風の中を小安団長指揮のもと、各団員は、本部へ参集し担当地域内を巡回し警戒にあたった。けが人はいなか?

河川の氾濫はないか?積載車の準備状況などをMCA無線機を使用し、本団へ

と報告する。深川管轄内から集められてくる情報を集約し、警戒態勢を配備する。



目に見えない。誰も気づかない。でも、消防団は生業のかたわら、家庭を抱えながら、毎日戦っている地域を愛する戦士などと感じる一日となつた。

（第9分団 岩淵編集員）



文句ばかり言って、怒ってばかりの自分を反省した。上になればなる程責任がのしかかる。それを何十年と戦つたらしあつたのだろうと。そんな方が、この深川という地域を守ってきてくれたから安心して暮らしてこられたのだろうと。入団したまもない頃に感じた「守られている」という感謝の気持ちをすっかり忘れていた。

22時、台風状況と待つてゐる団員家族の事や仕事の事などに配慮があり解散となつた。

操法大会特集



応援に来ていたいだいたいの方々と一緒に



ホース一本増加



第二火点への放水



応援

出場選手紹介



指揮者 齊藤 真二(部長 千石一丁目町会)



1番員 藤山 正行(団員 石島町会)



2番員 海老名 和也(団員 扇橋一丁目町会)



3番員 宇田川 敬司(班長 千石一丁目町会)



4番員 田坂 成淑(班長 千石一丁目町会)



補助者 田熊 伸次(団員 千石一丁目町会)

第47回

東京都 消防

東京都消防操法大会を終えて

昨年の深川団操法大会における大失敗のリベンジを誓い、我々は優勝を目指し年初めより練習をスタートさせました。6月4日の団操法大会では優勝を果たすことが出来、同時に第7方面を代表した第47回東京都消防操法大会への出場権を頂くことが出来ました。

東京都操法大会に向け6月末より、都大会練習日程、操法大会実施要項、自主トレーニング資料、などなど矢継ぎ早に署担当の方より資料が送られてきました。また指導支援体制も早々に決定し都大会に向けての皆様からの熱意を感じさせて頂きました。

練習スタートは7月11日、6分団の資材置き場をお借りして練習場所は高速道路高架下です。8月中は皆さん行事等色々入っており集中した練習が出来ず、不安を感じてしまう場面も多々ありました。週3回猛暑の中、田口総監督筆頭に本団・支援分団の皆様、署よりは小坂・奥村・坂西指導員はじめ支援署所の皆様、お忙しい中時間を割いてご指導ご支援いただきました。また2分団の仲間にも大変感謝申し上げます。途中多少のぶつかり合いはありましたが大きな怪我もなく大会本番に向か、規律・確実な動作・基準タイムを目標に一致団結することが出来ました。

都大会当日は朝から雨模様です。事前訓練においても小雨の中、練習することが出来ましたので、特に気になる事も無く全出場分団同条件での勝負です。4番目・Bコース・12時53分開始に向け準備体操で体を温め、円陣を組み士気を高めて準備万端です。応援席には家族・町会の皆様の応援してくださる姿を確認する事が出来ました。

「深川消防団操法開始」の合団とともに一呼吸おきポンプ車の前へ。1番員から4番員の目を確認、よし!みんな落ち着いている、目一杯の発声で「あつまれ」3ヶ月の集大成です。第一火点・第二火点・点検報告とミスも無く、基準タイムにも近いし、かなり良い成績かもと内心思っていました。

15分団の競技が終了し結果は9位。規律においての減点がかなり多い合計点数でした。しかしみんなやり切った清々しい顔つきです。署に戻り署員の皆様全員からの整列・敬礼でのお出迎え、目頭が熱くなり消防団をやっていて良かったなと思う瞬間でした。消防団OB・町会・団員家族・現消防団員・深川消防署員の皆様ご支援ご協力ありがとうございました。

第2分団指揮者 斎藤真二



消防操法開始前



操作はじめ



吸管延長

ファミリーデー

平成29年6月25日(日)

恒例になりつつあるファミリーデーも今年は小雨混じりでスタートしました。

団員のお子さん達も楽しみの消防車の試乗やユニフォームを着ての記念撮影、雨が上がつてからの梯子車の試乗、ミニカーに乗つたり；そして今年は2分団の宇田川さん所有のポップコーン製造機？を持ってきて下さり、作り始めるといい匂いが署内に漂つていましたね。お子さん達も大人達も大喜びでした；毎年の恒例になると嬉しいですね！恒例と言えば、署員が作ってくれる消防うどん、そして差し入れのカレー。今年は天候を考慮して青空食堂ではなく室内でしたが、やはり大好評でしたね！ご馳走様でした。

そして最後のイベント、今年は子供も大人もそして署員も参加してのバケツリレー！遊びながらの防災訓練、小さなお子さんはちょっと大変そうでしたたが、大人に手伝つて頑張りました！実際に役立つがないことを願いますが、楽しかったことは記憶に残り、それが防災に繋がることが一番いいですね。これからも楽しく心に残る訓練となるよう企画していきたいものですね！

(第7分団 藤田編集委員)



平成29年6月10日(土)、11日(日)

幹部視察研修



深川消防団幹部研修は、埼玉県防災学習センターで実施しました。研修後は、情緒ある川越市内を散策し、伊香保温泉へ向か

いました。宿泊先では、団幹部や各分団の幹部が交流を深め、日頃の消防団活動について熱く語り合いました。



(第6分団 高野編集委員)
梅内編集委員

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

<http://www.teisoh.co.jp/> E-mail:info@teisoh.co.jp
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 テイソウ
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

富岡八幡宮例大祭（本祭り）

平成29年8月13日(日)

消防団協力事業所

株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤庄一

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141(代表)
<http://www.mutoh-u.co.jp/>
支店・出張所 / 東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま
楊木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台

防災運動会

平成29年10月22日(日)

枝川・塙

浜・潮見連

合町会「エ

ダーディオ」

の防災体

験運動会

が、10月22

日(日)江

東区立枝川

小学校をお

借りて行

われた。今

年で33回目



を迎える運動会。降りしきる土砂降りの雨にもかかわらず、大勢の地域住民がかけつけ！体育館は人で溢れかえった。東京都地域の底力再生事業としなつているこの競技では、地域住民も川消防団第9分団の指導のもと担架搬送などの訓練を行った。毎年恒例となっているこの競技では、地域住民も真剣に耳を傾け、訓練をする。まさしく共助の精神である。こうした、繋がりがいざという時に大事な命を守るのだ。これからも、末永くこうした活動が後世へ続く子供達へと引き継がれていきますように！

(第9分団 岩淵編集委員)

総合震災訓練

平成29年11月18日(土)



深川消防署では首都直下型地震が発生したと想定して実動訓練を実施しました。深川消防署、深川消防団、深川災害時ボランティア及び関係機関は、豊洲埠頭にて震災時に発生した延焼火災を想定し、長時間放水訓練を実施しました。

(第10分団 楠山編集委員)

防火のつどい

平成29年11月8日(水)

江東文化センターホールにて、秋の

火災予防運動に伴う「防火のつどい」が開催されました。「防火のつどい」は2部構成となっていて、第1部では、防火防災に功労のあつた個人・団体への表彰式が行われました。第2部では、防火防災講演会が開かれました。

今年の講師は「なぎら健壱」さんで、講演内容は「下町と防災」についてでした。テレビで語る様子とは一味違つた講演会となり、下町文化について多くのことを語つて頂きました。特に江戸時代には大火災が起るたびに、その地域に住んでいた住民は、新しい場所に家を建てて移り住んでいくことで、下町という文化が広がつていったことなど、大変興味深い講演会となりました。

(第8分団 庄井編集委員)



消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として

活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。

オーラ ホテルズ & ソーバーTM
ホテル イースト21東京〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
03-5683-5683 (代表)
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか
分からない」

弊社の社員も消防団員として
活動しています。

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4 階

